



復興支援第1弾

いつか東北の復興を担う子どもたちが “つなぐ命”の大切さを考える

大きな災害に遭った東北の中学生が、心肺蘇生法を学んだ。
その一生懸命な姿に、命の尊さについて考える前向きな気持ちが見てとれた。



**東日本大震災に遭った
子どもたちが心肺蘇生を学ぶ**

岩手県大船渡市の高台にある大船渡中学校。学校自体は山の上に位置するため、生徒や先生の命、また校舎は無事だった。しかし、山の上から見る海岸沿いは、東日本大震災から半年たった今でもこの震災の大きさと悲惨さを訴えるかのように全壊した建物とその瓦礫が積み上がったままだ。

そして、対岸の海岸沿いに建つ赤崎中学校は全壊。現在、大船渡中学校の校舎を借りて授業を行っている。そんな状況下、大船渡中学校2年生と赤崎中学校2年生全員、総勢123名が保健体育の授業の一環として、心肺蘇生の実習を受けた。被災地を応援したい、少しでも震災関連死を防ぎたい、そんな思いのもと全国の方からの支援で生徒一人一人にミニアンを準備し、今回の心肺蘇生授業へとつながった。

配られたキットについて、学校の先生や消防の方、医療関係者など全国の方からの支援で今回の授業が行われたことがファシリテーター（進行役）から説明された。

なぜ心肺蘇生が必要なのか、その意味を考える

「おはようございます」と元気に体育館に入ってくる生徒たち。先生の号令により静粛に、しかしきびきびと実習の授業ははじまった。

「みんなのように震災で助かった命でも、その後に避難所や仮設住宅などで亡くなった。震災関連死は282名。そのうち40名が心臓疾患によるものでした。」

近くにいた人々が、救急車や医師が到着するまでに心肺蘇生を行っていたら助かった命があったかもしれない。そういう命を少しでもみんなの行動で救うことができるようになってもらうのが今日の実習の目的です。」と養護の鈴木先生がまず説明。そして、実習がスタート。DVDに従ってキットの箱をあけマネキンに空気を入れ始めた。



繰り返しの中で少しずつ上手く、
そしてどんどん真剣になっていく

生徒たちは、DVDどおり胸骨圧迫から気道確保、そして人工呼吸を繰り返す。胸骨圧迫や人工呼吸がうまくできているかどうか、先生や周りの友だちと共に互いに確認。その真剣に取り組んでいる姿勢から、この実習の意味が正しく伝わっていることが感じられる。

実習をひと通り終えると、実際に救急の場面に遭遇した想定でのトレーニングがはじまる。

周囲の人や倒れている人への呼び掛けも、本番さながら恥ずかしがらず大きな声を出す生徒たち。胸骨圧迫も1、2、3と大きな声を出す。

素直にトレーニングを何度も繰り返す生徒たちの姿には、大人から見てもたくましささえ感じた。

最後にAEDの使い方を練習してト

レーニングは終了。あつという間の5分と感じたのは、先生だけでなく生徒も同じだったようだ。

「医療機関が被災し、未だ復旧が不十分。そのために救急車の到着時間、搬送時間には時間がかかるのが現状です。その待っている時間に、今日実習した心肺蘇生をみんなが積極的に行って欲しい。」と鈴木先生。さらに宿題も出された。今日の感想とこの実習を家の人に伝えること。今日トレーニングした123名がまた誰かに伝えることで、心肺蘇生できる人がどんどん増え、より多くの命が救われ、命が増えることは、もう十分に生徒が実感できる実習であった。

多くの人々ができるようにこれからもつとめていきたいと考えています。

大船渡中学校 養護教諭
鈴木 節子 先生 のお話



中学2年の保健体育の授業に「心肺蘇生の実習」があるのですが、消防署へ行って1体のマネキンで実習する講習を見るだけなのです。この『ミニアン』は、生徒1人に1つ。全員が自分で実習することができるのが大きな魅力です。生徒たちも意義を理解し、真剣にまた上手にトレーニングしていたので安心しました。これを機に、家の方や違う学年の生徒たちの前でぜひ見本を見せて欲しいと思っています。

赤崎中学校 養護教諭
佐々木 恵 先生 のお話



校舎が全壊してしまい、大船渡中学校で授業をする日々ですが、今回はいっしょにすることで声をかけていたとき本当にいい機会でした。公に口にすることはないけれど、生徒全員が命については深く考えていると思います。みんな真剣に取り組んでいて、今後も「命をつなぐことの大切さ」を生徒といっしょに考えて、この生徒たちがその場面にいくわした時には積極的に行動するように頑張って欲しいと思っています。

VOICE

授業を終えた生徒たちの声

45分の実習授業を終えた
生徒たちに感想を聞いてみた。

VOICE 1

授業の前に先生から説明されたときは、あまりよくわからなかったけれど、今日よく理解でき、イメージもできた。命を助けることに貢献したい。

VOICE 2

思っていたより、ずっとカンタンでシンプルだった。もし、そういうことに遭遇したら僕らが積極的に行動したい。

VOICE 3

DVDはともわかりやすかつたけれど、やはり繰り返し続けないと忘れてしまいそう。だから、家に帰ってもDVDを見て繰り返し勉強したい。

VOICE 4

こういう場を作っていただいて感謝している。目の前の命が助けられるのであれば躊躇せず心肺蘇生を行いたいと思う。

VOICE 5

医療もののドラマが好きで、以前から興味があったのでやってみたかった。今日の実習を部活などでも広めて役立てたい。

VOICE 6

初めてのことで最初は不安だったし、難しい気もしていたけれど、繰り返すうちに少しずつできるようになってきた。とても勉強になった。

VOICE 7

家に帰ったら、家の人にすぐに教えたい。たくさんの方が出来るようになって少しでも多くの命を助げたい。

VOICE 8

普段はなかなか学べないことを知ることが出来て感謝している。実際には起きて欲しくないけれど、もしそういつことがあれば今日の実習を活かしたい。



CPR・AED学習キット
—ミニアン—
MiniAnne

構成品：マネキン、模擬 AED、
学習用 DVD、テキストブック、
模擬携帯電話、交換用肺、
マネキンワイブ、自己学習修了証



Laerdal
helping save lives